



TonePrint App/Editor V4 Reference Manual

JP Version Rev 1.3(2022.1)

内容

TonePrint について.....	4
TonePrint Editor 初期画面.....	5
USER タブ.....	6
Library タブ.....	7
Template タブ.....	8
Edit 画面.....	9
MAPPING タブ.....	10
EXPRESSION PEDAL タブ.....	11
MASH タブ.....	12
PRODUCT SETTINGS タブ.....	13
Favorite タブ.....	14
Board タブ.....	15
Settings.....	16
TonePrint Editor で設定できるパラメーター.....	17
各ペダルのパラメーター.....	18
FLASHBACK 2 DELAY.....	18
HALL OF FAME 2 REVERB.....	21
CORONA CHORUS.....	24
SHAKER VIBRATO.....	26
QUINTESSENCE HARMONY.....	27

HELIX PHASER.....	28
VORTEX FLANGER.....	29
VISCOUS VIBE.....	30
SUB 'N' UP OCTAVER.....	32
HYPERGRAVITY COMPRESSOR.....	36
PIPELINE TAP TREMOLO.....	37
BRAINWAVES PITCH SHIFTER.....	39
SENTRY NOISE GATE.....	41
INFINITE SAMPLE SUSTAINER.....	42

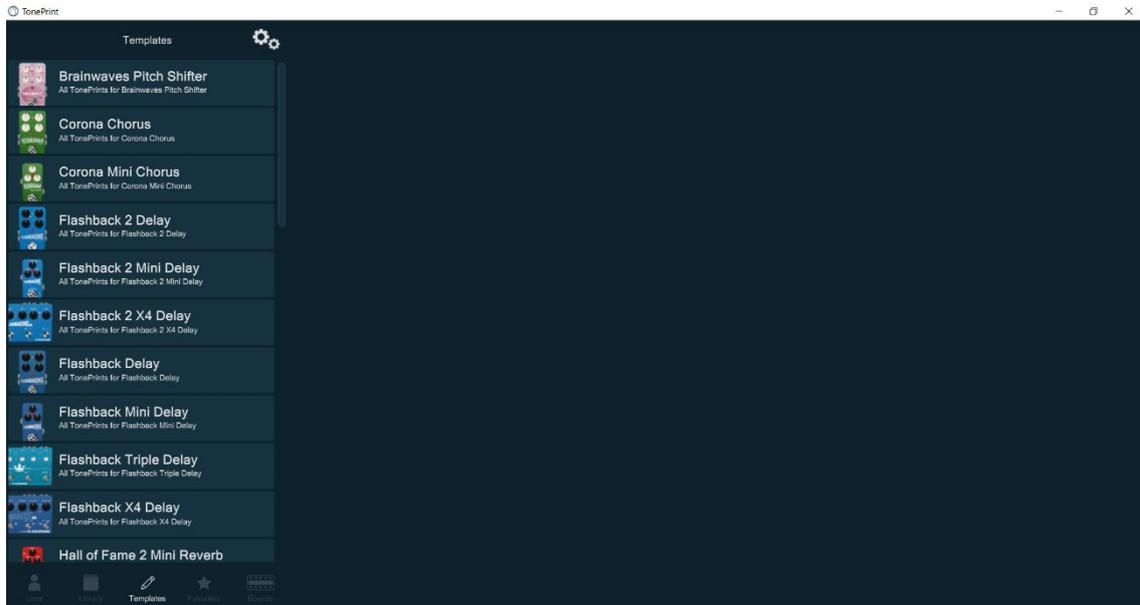
TonePrint について

TonePrint は、TC Electronic によって開発された「アーティストが自分のニーズに合わせてゼロから構築する」エフェクトの独自のシグネチャープリセットです。TonePrint を使用すると、TonePrint ペダルの特性を数秒で完全に変更できます。

また無料の TonePrint App を使用することでコントロールするパラメーターや数、EQ カーブなど、ペダルのありとあらゆる箇所を調整することができます。

さらに、世界的に著名なアーティストが作成した TonePrint に加えて、クラシックなヴィンテージサウンドからモダンでクールなサウンドまで、TC Electronic のトーンテクニシャンが作成した独自のテンプレートも自由に使用できます。

TonePrint Editor 初期画面



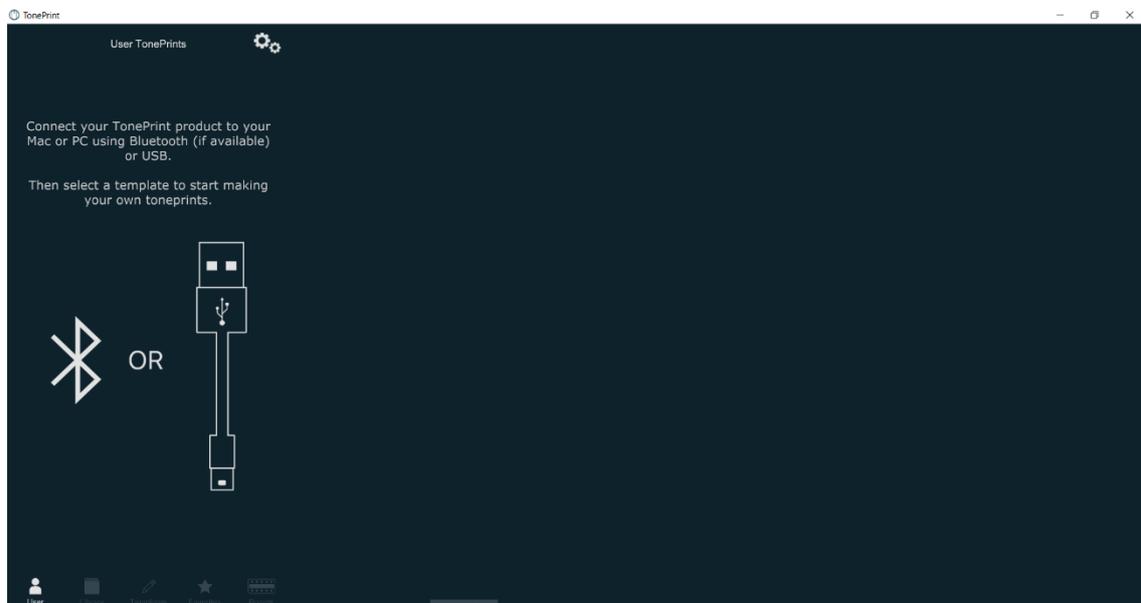
各タブについてご説明していきます

USER タブ

User タブではご自身で作成した“カスタム TonePrint”を保存しておくことができます。

ご自身が作成したカスタム TonePrint が一覧で表示されます。

カスタム TonePrint は作成を行ったデバイスにのみ保存をすることができ、他のデバイスへ共有を行うことができません。

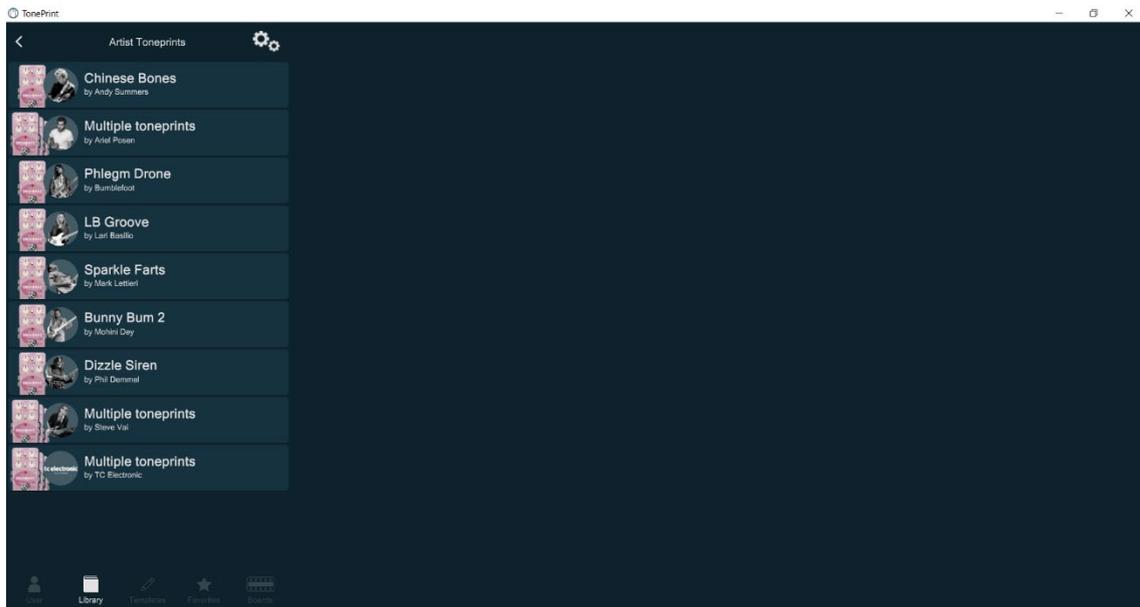


Library タブ

選択したペダルの TonePrint が一覧で表示されます。ここに表示される TonePrint は TC Electronic が作成した Template TonePrint を除き、詳細に編集することはできず、アーティストなどが作成した TonePrint をそのままペダルに*インポートします。

*PC/Mac の場合は、ペダルを USB で接続する必要があります。

*PLETHORA X5 と iOS または Android デバイスを接続する場合は Bluetooth 経由で接続を行う必要があります。



Template タブ

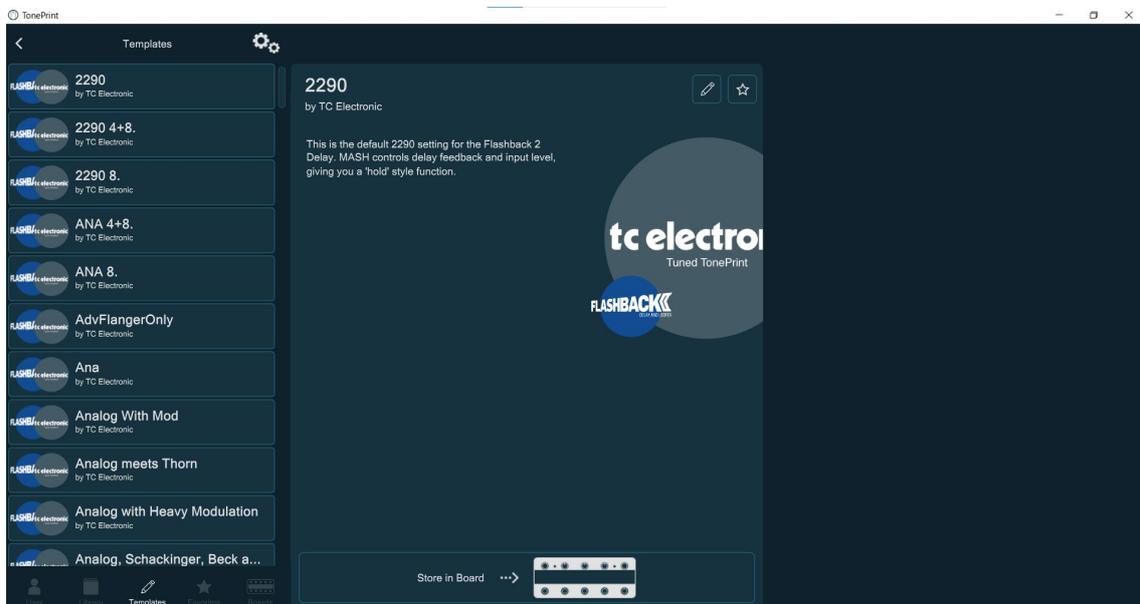
このタブでは選択したペダルに対して TC Electronic が作成した TonePrint テンプレートが一覧で表示されます。これらの TonePrint はペダルが USB ケーブルで接続されている場合*に限り任意の Template TonePrint をベースとして詳細に編集することができます。

TonePrint の編集を行う際は任意の Template TonePrint を選択して、鉛筆マーク  を押すことで Editor 画面を表示することができます。

*PLETHORA X5 のみ iOS および Android デバイスと Bluetooth を介して接続して、編集を行うことができます。

*BG/BH シリーズ、および SPECTRADRIVE は EDITOR による編集に対応していません。

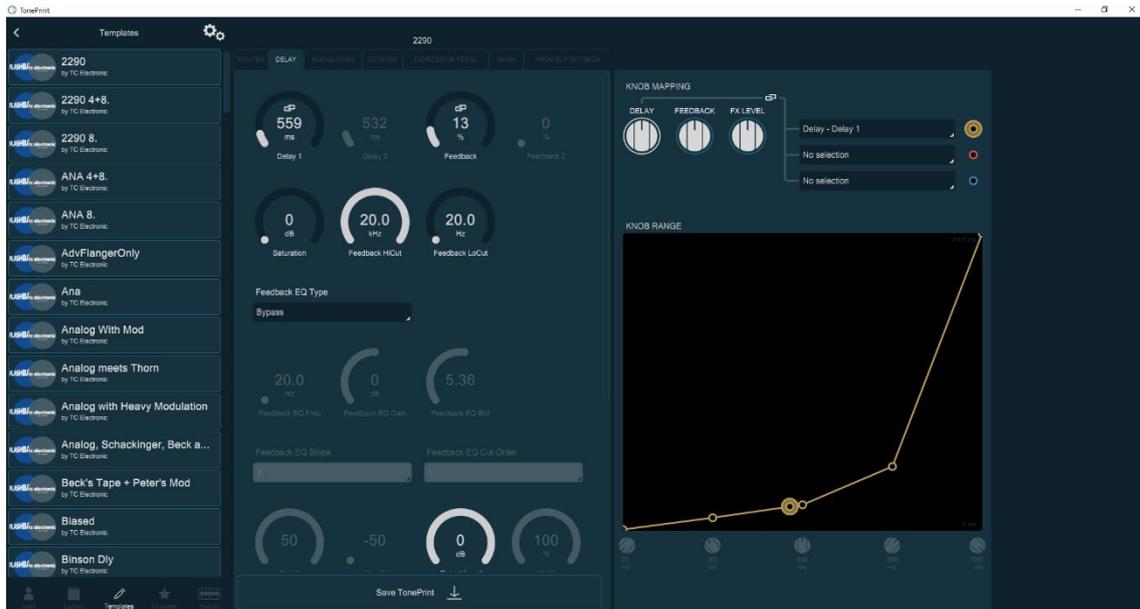
*Lightning 端子を搭載した iOS デバイスと接続する場合は、Apple 純正の Lightning-USB カメラ接続キットが必要です。



Edit 画面

TonePrint の Edit に入ると以下のような画面が表示されます。

編集可能なパラメーターについてはペダルによって異なりますので、巻末の各ペダルごとのパラメーターをご参考ください。



共通パラメーターとして“MAPPING”、“EXPRESSION PEDAL*”、“MASH*”、“PRODUCT SETTING*”が存在します。

*対応しているペダルを接続した際のみ表示されます。

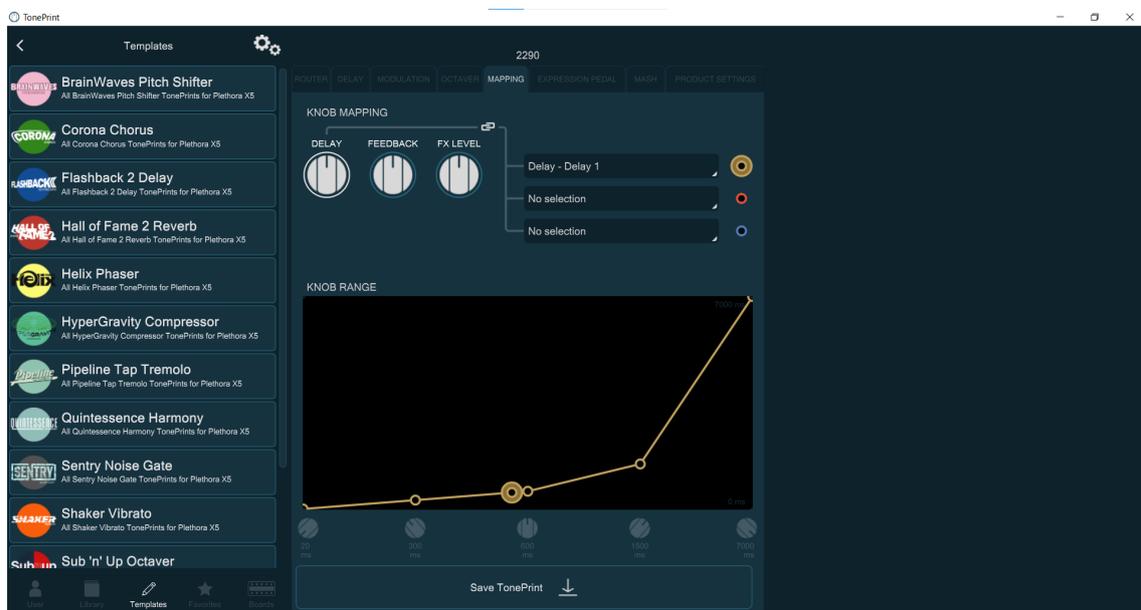
MAPPING タブ

MAPPING タブでは使用可能なノブにそれぞれ最大3つまで任意のパラメーターをアサインすることが可能です。

また、各ノブにアサインしたパラメーターのカーブも5つのノブの位置で設定することができます。

MAPPING でアサインしたパラメーターには鎖マーク  が表示されます。

これらのパラメーターは変更を行っても、最終的にノブの位置が優先されます。

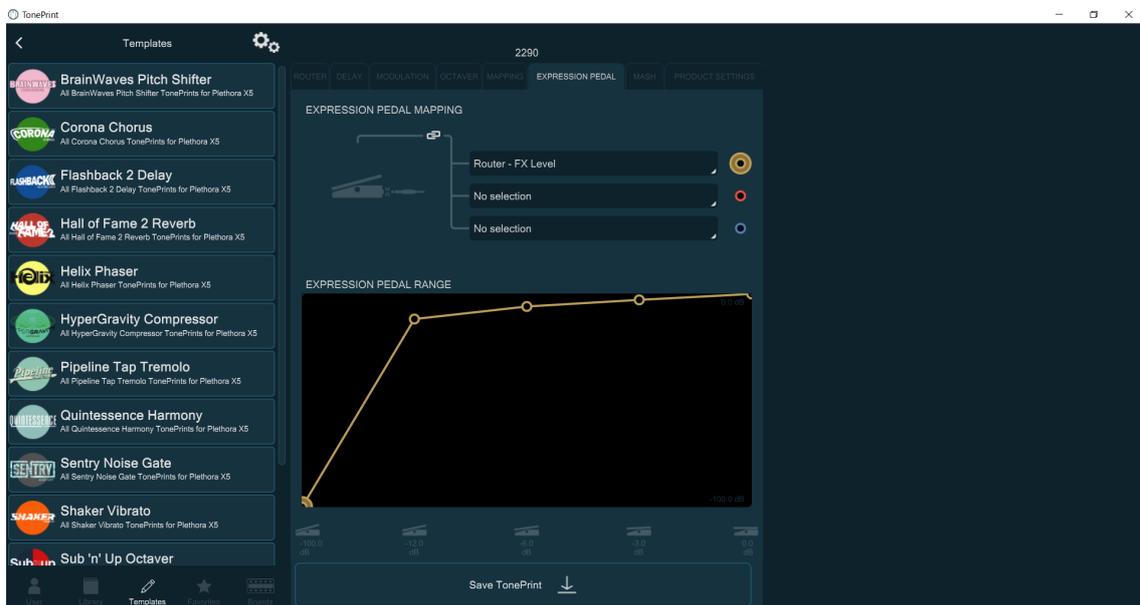


EXPRESSION PEDAL タブ

EXPRESSION PEDAL タブでは、EXPRESSION PEDAL が使用な場合に MAPPING 同様 EXPRESSION PEDAL でコントロール可能なパラメーターを自由に3つまでアサインすることが可能です。

また、アサインしたパラメーターのカーブも5つの位置で設定することができます。

EXPRESSION PEDAL タブでアサインしたパラメーターには鎖マーク  が表示されます。

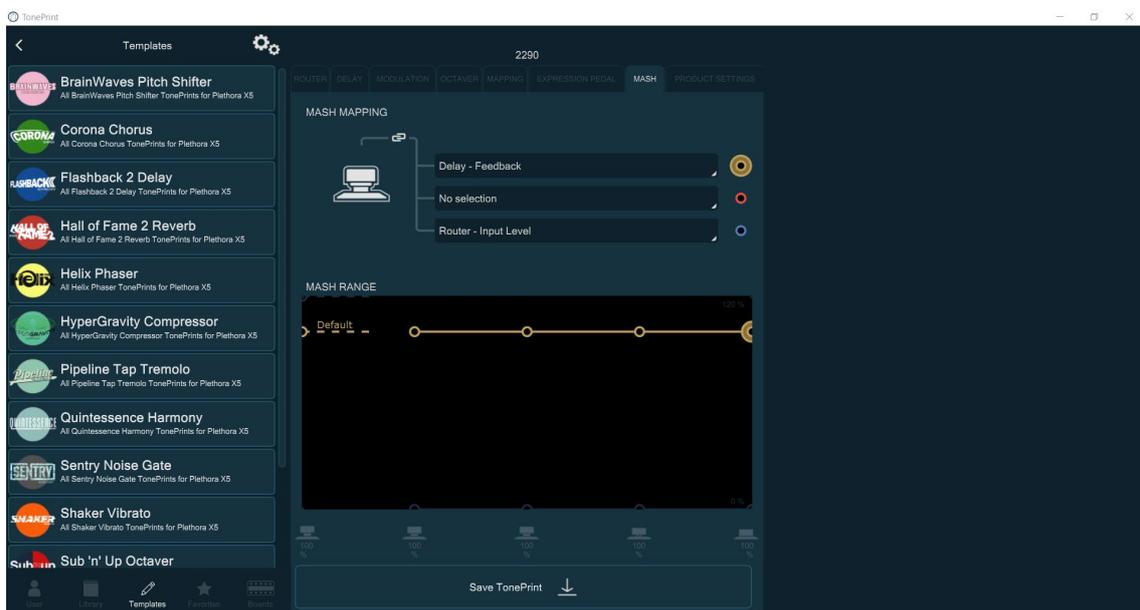


MASH タブ

MASH タブでは、MASH コントロールが使用なペダルを接続した場合に MAPPING 同様 MASH でコントロール可能なパラメーターを自由に 3 つまでアサインすることが可能です。

また、アサインしたパラメーターのカーブも 5 つの感圧位置で設定することができます。

MASH タブでアサインしたパラメーターには鎖マーク  が表示されます。



Tips : MASH コントロールについて

MASH コントロールは TC Electronic が開発した“感圧式エクスペッションコントロールフットスイッチ”です。

FLASHBACK 2 DELAY や HALL OF FAME 2 REVERB など一部の機種には、通常と異なるフットスイッチが搭載されています。

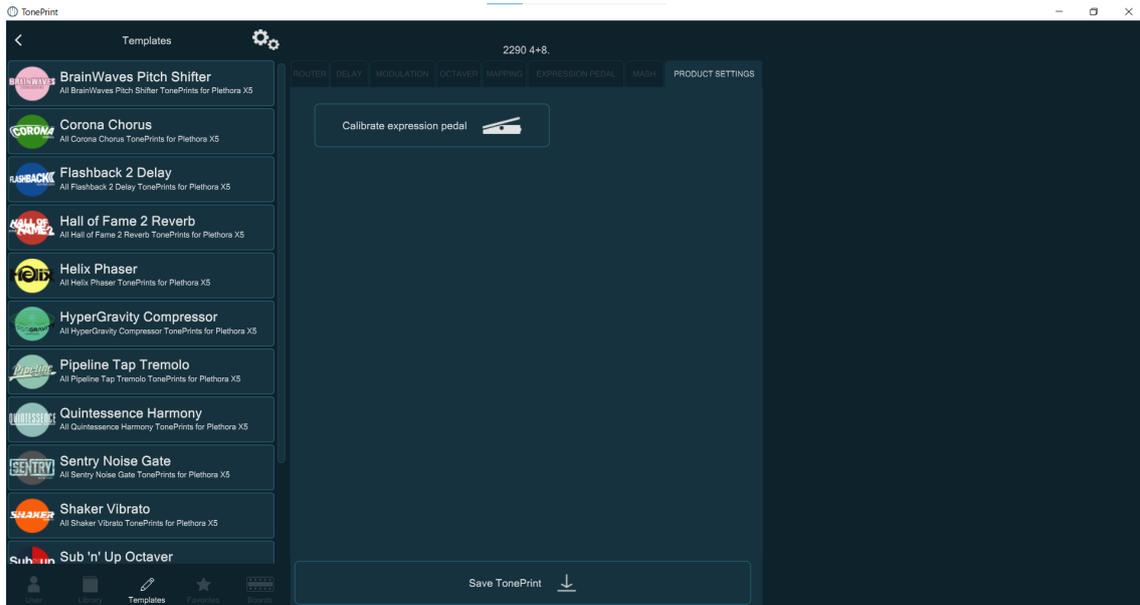
この MASH フットスイッチは、通常のエフェクト ON/OFF だけでなく、フットスイッチを押し込む強さによって圧力を検知し、エフェクトパラメーターをコントロールする機能を備えています。

これにより、外部エクスペッションペダルなどを必要とせずにエフェクター本体のみでエフェクトパラメーターを感覚的にコントロールできます。

PRODUCT SETTINGS タブ

PRODUCT SETTINGS タブでは、“特定の設定”が存在する場合にその設定の ON/OFF を行うことが可能です。

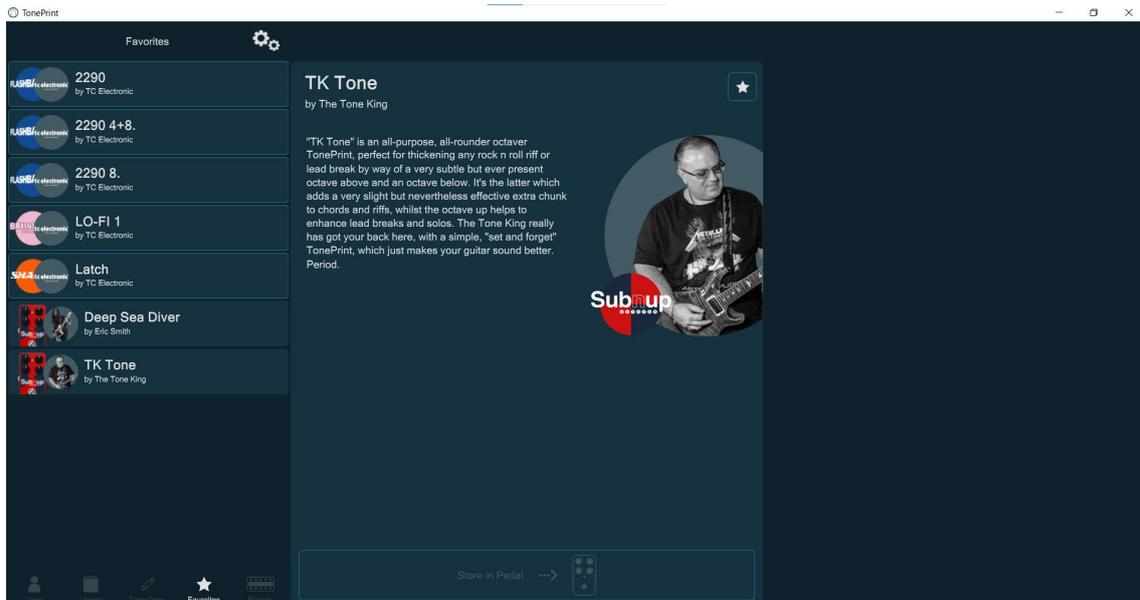
この“特定の設定”には、“MASH 機能の ON/OFF”、“EXTERNAL TAP TEMPO の ON/OFF”、“EXPRESSION PEDAL のキャリブレーション”などが含まれます。



Favorite タブ

Favorite タブでは Favorite(お気に入り)に追加した TonePrint を一覧で表示することができます。

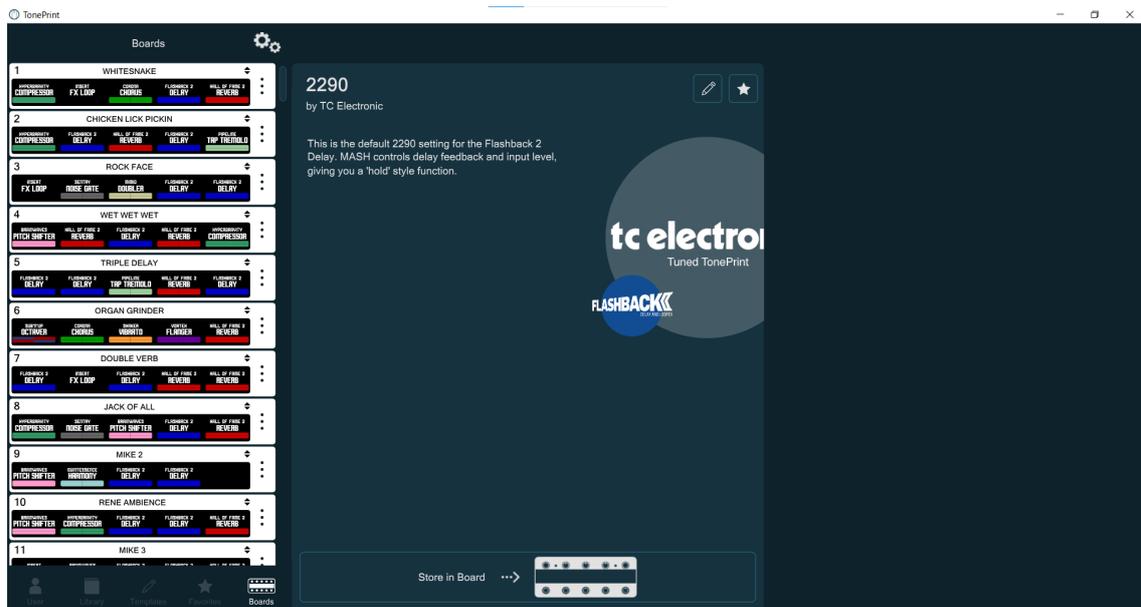
お気に入りに追加する際は TonePrint



Board タブ

このタブでは PLETHORA X5 を接続している場合に、PLETHORA X5 内のボードを一覧で表示できます。

また、この画面ではボードの順番を入れ替えたりボードの名前を変更したりすることもできます。



Settings

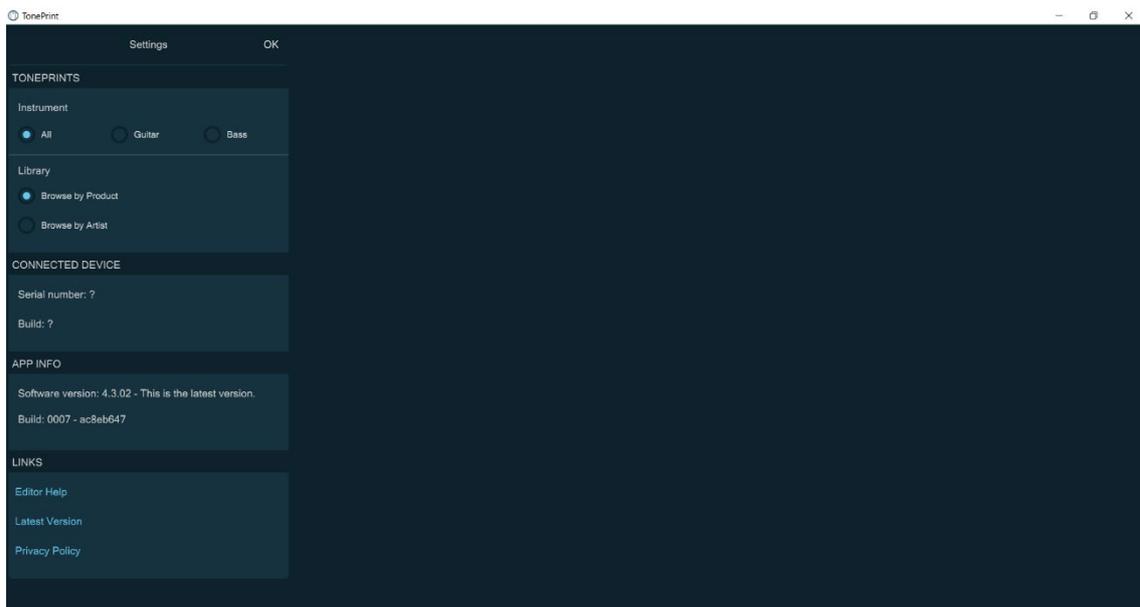
上部にある歯車マークを選択すると設定画面にアクセスできます。

ここでは接続しているペダルの情報(シリアルナンバーやファームウェアなど)や Editor のバージョンなどを確認することができます。

FILTER ではすべての TonePrint を表示するか、Guitar または Bass 用の TonePrint のみを表示するように設定することができます。

Library では製品から TonePrint を選択するか、アーティストから TonePrint を選択するかを設定することもできます。

また、iOS や Android バージョンでは Bluetooth 対応ペダルとの接続オプションもこの画面に表示されます。



TonePrint Editor で設定できるパラメーター

TonePrint Editor で調整可能なパラメーターはペダルの種類によって異なります。

別紙のパラメーターリストをご参照ください。

Flashback2 Delay ペダルであれば Delay をベースとするパラメーターに加え、Crystal Delay 用のオクターブアルゴリズムや、モジュレーションパラメーターなどを調整することができます。

Hall of Fame2 Reverb であれば Reverb のアーリーリフレクションやリバーブテールのカラー、ディフュージョンなどを調整することができます。

また、各ノブや MASH フットスイッチに割り当てられているパラメーターの再アサインやパラメーターカーブの設定も任意に行うこともできます。

この画面で作成した TonePrint は User TonePrint としてアプリケーション内の USER タブに保存することができます。

他のユーザーと TonePrint を共有することはできません。



各ペダルのパラメーター

FLASHBACK 2 DELAY			
Page	Parameter	Range	Description
ROUTER			
	Input Level	-100~0dB	Input Level を調整します
	FX Level	-100~0dB	FX Level を調整します
	Octaver Output	-100~0dB	Octaver の Output レベルを調整します
	Kill Dry	ON/OFF	原音をカットできます
DELAY			
	Delay	0~7000ms	Delay1 の Delay Time を調整します
	Delay2	0~7000ms	Delay2 の Delay Time を調整します
	Feedback	0~120%	Delay1 の Feedback を調整します
	Feedback2	0~120%	Delay2 の Feedback を調整します
	Saturation	0~24dB	Delay にサチュレーション量(歪み量)を調整します
	Feedback HiCut	20~20kHz	Delay feedback の Hi Cut 周波数を調整します
	Feedback LoCut	20~20kHz	Delay feedback の Lo Cut 周波数を調整します
	Feedback EQ Type	Bypass	Feedback の EQ をバイパスします
		LoCut	Feedback に LoCut タイプの EQ を適用します
		HiCut	Feedback に HiCut タイプの EQ を適用します
		LoShlv	Feedback に Lo シェルピングタイプの EQ を適用します
		HiShlv	Feedback に Hi シェルピングタイプの EQ を適用します
		ParEQ	Feedback にパラメトリックタイプの EQ を適用します
	Feedback EQ Freq	20~20kHz	設定した EQ に対しての周波数を設定します
	Feedback EQ Gain	-20~20dB	設定した EQ の周波数に対しての Gain 量を設定します
	Feedback EQ BW	0.1~10	ParEQ の BandWidth(幅)を設定します
	Feedback EQ Slope	3,6,9,12 dB/oct	LoShlv,HiShlv EQ の設定周波数に対するオクターブごとの減衰量を調整します。
	Feedback EQ Cut Order	1,2	カットする周波数からの減衰カーブを設定します
	Pan1	-50~50	ステレオディレイ時の Delay1 に対する Pan を設定します
	Pan2	-50~50	ステレオディレイ時の Delay2 に対する Pan を設定します
	Output Level	-100~0dB	Delay 全体のアウトプットレベルを調整します

	Width	0~100%	ステレオディレイの幅を設定します
	Dynamic Delay Sens	-50~0dB	Delay と原音のしきい値を設定します
	Dynamic Delay Damping	0~100 dB	Sens で設定したしきい値を超えた際のアッテネーション量を設定します
	Dynamic Delay Release	20~1000ms	入力がしきい値を下回り、アッテネーションが終了するまでの時間を設定します
	Reverse Delay	50~7000ms	Reverse Delay の録音の長さを設定します
	Subdiv Up	4.~8.-16	トグルスイッチを上にした際の Subdiv の値を設定します (Flashback/X4/Flashback2 のみ)
	Subdiv Mid	4.~8.-16	トグルスイッチを真ん中にした際の Subdiv の値を設定します (Flashback/X4/Flashback2 のみ)
	Subdiv Down	4.~8.-16	トグルスイッチを下にした際の Subdiv の値を設定します (Flashback/X4/Flashback2 のみ)
TAPE DELAY			
	Delay	60ms~800ms	Delay1 の Delay Time を調整します
	Delay2	60ms~800ms	Delay2 の Delay Time を調整します
	Wow	0~100%	Delay1 の Feedback を調整します
	Flutter	0~100%	Delay2 の Feedback を調整します
	Lo Cut Freq.	20Hz~20kHz	Delay feedback の Lo Cut 周波数を調整します
	Lo Cut Q	0.70~1.40	Lo Cut Filter の Q 係数 (レゾナンス/バンドウィズ) を設定します
	Hi cut freq. Distance	20Hz~20kHz	Delay feedback の Hi Cut 周波数を調整します
	Hi cut Q	0.70~1.40	Hi Cut Filter の Q 係数 (レゾナンス/バンドウィズ) を設定します
	Filter Routing	Internal	Delay のフィードバックパス内にフィルターを配置します
		Post	フィルターを Delay ブロックの後に配置します
	Clip Type	None	テープディレイのリピートのソフトクリップタイプ (ディストーション) を設定します
		Hard	
		2nd Liniaer High	
		2nd Curved Low	
		3rd Linear High	
		3rd Curved Low	
		4th Linear High	
		4th Curved Low	
		Digital Radiance Generator Part	
		Parametric EQ-Gold Channel	
		Dirty Square Root	
	Softclip Drive	0~30dB	Soft Clip の歪み量を設定します
	Softclip Symmetry	-100~100%	Soft Clip の対称性を設定します

	Feedback	0~150%	Delay1 の Feedback を調整します
	Feedback 2	0~150%	Delay2 の Feedback を調整します
	Speed inertia	0.10~1.00	テープディレイのモータートルクをエミュレートし、Delay Time パラメーターが変更されたときにディレイのピッチが変化する速度を設定します
	Inertia type	EXP/Soft	ピッチ変化の速度を2つの異なる慣性タイプ（カーブ）から選択します
	Subdiv Up	4~8.-16	トグルスイッチを上にした際の Subdiv の値を設定します (Flashback/X4/Flashback2 のみ)
	Subdiv Mid	4~8.-16	トグルスイッチを真ん中にした際の Subdiv の値を設定します (Flashback/X4/Flashback2 のみ)
	SubDiv Down	4~8.-16	トグルスイッチを下にした際の Subdiv の値を設定します (Flashback/X4/Flashback2 のみ)
MODULATION			
	Mod Type	Classic Cho	SCF タイプのクラシックコーラスです
		Adv.Cho	コーラスチューニングが少し異なるバリエーションです
		Classic Fla	クラシックタイプのフランジャーです
		Adv.Flanger	フランジャーチューニングが少し異なるバリエーションです
		Vibrato	ビブラートです
		Vib.Ramp	ビブラートチューニングが少し異なるバリエーションです
		TriChorus	3つの異なるオフセットをかけたコーラスのバリエーションです
		TriChoAltn	トライコーラスのバリエーションです
		TZFlanger	古典的なテープデッキを使用したフランジャーのエミュレーションです
	Mod Active	ON/OFF	モジュレーションを ON/OFF します
	Tape Falnger	0~1023	TZFlanger の Delay1 と Delay2 のバランスを調整します
	LFO Type	Sine	モジュレーションの波形を Sine 波にします
		Sine2	Sine 波のバリエーションです
		Sine4	Sine 波のバリエーションです
		Triangle	モジュレーションの波形を三角波にします
		Sine of Cosine	モジュレーションの波形をコサイン波にします
	Speed	61.5mHz~20Hz	モジュレーション波形の速度を設定します
	Depth1	0.0~100%	モジュレーションの深さを調整します
	Depth2	0.0~100%	Tri Chorus 使用時に 2 番目のモジュレーションの深さを調整します
	Depth3	0.0~100%	Tri Chorus 使用時に 3 番目のモジュレーションの深さを調整します
	Mod HiCut	20Hz~20kHz	モジュレーションの HiCut 周波数を調整します
	Mod Mix	0~100%	モジュレーションの MIX 量を調整します
	Output Level	-100~0dB	モジュレーションの Output Level を調整します

	Delay Time1	0.1~50.0ms	モジュレーションの Delay を調整します
	Delay Time2	0.1~50.0ms	特定のモデルを使用時に 2 番目のモジュレーションの Delay を調整します
	Delay Time3	0.1~50.0ms	特定のモデルを使用時に 3 番目のモジュレーションの Delay を調整します
	Mod Feedback	-100~100%	モジュレーションのフィードバック量を調整します
	Mod Feedback HiCut	20Hz~20kHz	モジュレーションフィードバックに対する HiCut 周波数を設定します
OCTAVER			
	Input Filter First	20Hz~1kHz	Octaver エフェクトに入る際の信号をフィルターする周波数を設定します。設定した周波数からオクターバーエフェクトがかかり始めます。
	Input Filter Spacing	50Hz~200Hz	Input Filter Count で設定したバンドパスフィルター同士の間隔を設定します。
	Input Filter Count	1~80	オクターブアップ信号を作成するためのバンドパスフィルターの数を設定します。数値が高いほどフィルター数が多くなり正確なオクターブが得られます。
	Input Filter Q	1.5~50	オクターブアップ信号を作成するためのバンドパスフィルターの Q 幅を設定します。数値が高いほど幅が狭くなります。
	Input Filter Q Tilt	-0.6~1.0	フィルターのレゾナンスが低から高の周波数範囲でどのように変化するかを設定します
	Q Output Rel Up	-0.6~1.0	フィルターのレゾナンスが周波数に対してどのように分布するかを設定します
	FX Level Up	-100~0dB	Octaver のレベルを調整します。
	Output HiCut Freq	20Hz~20kHz	オクターバー信号の HiCut 周波数を設定します
	Drive	0~40dB	Octaver のドライブ量を設定します、これによりレベルが補正されます
	Enable	ON/OFF	Octaver ON/OFF を設定します

HALL OF FAME 2 REVERB			
Page	Parameter	Range	Description
ROUTER			
	Input Level	-100~0dB	Input Level を調整します
	FX Level	-100~0dB	FX Level を調整します
	Octaver Output	-100~0dB	Octaver の Output レベルを調整します
	Kill Dry	ON/OFF	原音をカットできます
REVERB			
	Decay	0.02~20 sec	リバーブが消えるまでの時間を設定します
	PreDelay(Short)	0~300 ms	Dry 信号からリバーブがかかるまでの短い Delay を設定します。"Short "設定時のリバーブのプリディレイ時間を設定します
	PreDelay(Long)	0~300 ms	Dry 信号からリバーブがかかるまでの短い Delay を設定します。"Long "設定時のリバーブのプリディレイ時間を設定します

	Diffusion	-50~50	リバーブの密度を微調整します
	LoColor	-50~50	リバーブ全体の低周波数におけるスペクトルを調整します
	HiColor	-50~50	リバーブ全体の高周波数のカラーを調整します
	HiFactor	-25~25	選択した HiColor スペクトルを強調または減衰します
	MOD	ON/OFF	モジュレーションの ON/OFF を行います
	Mod Rate	-25~25	内部 LFO のモジュレーション率をオフセットします
	Mod Depth	-25~25	スペースモジュレーションのデフォルト量をオフセットします (タイプによって異なります)
	Early Reflect	-24.5~0dB	アルゴリズム上のリバーブ初期反射部分のレベルです。
	Reverb Tail	-24.5~0dB	アルゴリズム上のリバーブ初期反射後リリースのレベルです。
	Dynamix Mode	OFF	Dynamix が OFF になります
		Positive	入力信号のダイナミクスを介してリバーブのレベルを制御できます、演奏中のリバーブ出力は減衰され、ダイナミクスが下がった時にリバーブが増加します
		Inverse	入力信号のダイナミクスを介してリバーブのレベルを制御できます、演奏中のリバーブ出力が多くなり、ダイナミクスが下がった時にリバーブが減衰します
	Dynamix Threshold	-40~0dB	Reverb と原音のしきい値を設定します、設定によってしきい値を超えた、または下回った値を減衰したり増加したりします
	Dynamix Damp	-60~0dB	Threshold で設定したしきい値を超えた、または下回った際のアッテネーション量を設定します
	Dynamix Attack	0.000~1.000 sec	Dynamix モードがアクティブの場合、リバーブのエンベロープのアタックタイムを設定します
	Dynamix Release	0.000~1.000 sec	Dynamix モードがアクティブの場合、リバーブのエンベロープのリリースタイムを設定します。 Tips : 80s Gated verb のリリースタイムは 20 から 100 ミリ秒とかなり短い です
MODULATION			
	Mod Type	Classic Cho	SCF タイプのクラシックコーラスです
		Adv.Cho	コーラスチューニングが少し異なるバリエーションです
		Classic Fla	クラシックタイプのフランジャーです
		Adv.Flanger	フランジャーチューニングが少し異なるバリエーションです
		Vibrato	ビブラートです
		Vib.Ramp	ビブラートチューニングが少し異なるバリエーションです
		TriChorus	3つの異なるオフセットをかけたコーラスのバリエーションです
		TriChoAltn	トライコーラスのバリエーションです
		TZFlanger	古典的なテープデッキを使用したフランジャーのエミュレーションです
	Mod Active	ON/OFF	モジュレーションを ON/OFF します
	Tape Falnger	0~1023	TZFlanger の Delay1 と Delay2 のバランスを調整します
	LFO Type	Sine	モジュレーションの波形を Sine 波にします

		Sine2	Sine 波のバリエーションです
		Sine4	Sine 波のバリエーションです
		Triangle	モジュレーションの波形を三角波にします
		Sine of Cosine	モジュレーションの波形をコサイン波にします
	Speed	61.5mHz~20Hz	モジュレーション波形の速度を設定します
	Depth1	0.0~100%	モジュレーションの深さを調整します
	Depth2	0.0~100%	Tri Chorus 使用時に 2 番目のモジュレーションの深さを調整します
	Depth3	0.0~100%	Tri Chorus 使用時に 3 番目のモジュレーションの深さを調整します
	Mod HiCut	20Hz~20kHz	モジュレーションの HiCut 周波数を調整します
	Mod Mix	0~100%	モジュレーションの MIX 量を調整します
	Output Level	-100~0dB	モジュレーションの Output Level を調整します
	Delay Time1	0.1~50.0ms	モジュレーションの Delay を調整します
	Delay Time2	0.1~50.0ms	特定のモデルを使用時に 2 番目のモジュレーションの Delay を調整します
	Delay Time3	0.1~50.0ms	特定のモデルを使用時に 3 番目のモジュレーションの Delay を調整します
	Mod Feedback	-100~100%	モジュレーションのフィードバック量を調整します
	Mod Feedback HiCut	20Hz~20kHz	モジュレーションフィードバックに対する HiCut 周波数を設定します
OCTAVER			
	Input Filter First	20Hz~1kHz	Octaver エフェクトに入る際の信号をフィルターする周波数を設定します。設定した周波数からオクターバーエフェクトがかけられ始めます。
	Input Filter Spacing	50Hz~200Hz	Input Filter Count で設定したバンドパスフィルター同士の間隔を設定します。
	Input Filter Count	1~80	オクターブアップ信号を作成するためのバンドパスフィルターの数を設定します。数値が高いほどフィルター数が多くなり正確なオクターブが得られます。
	Input Filter Q	1.5~50	オクターブアップ信号を作成するためのバンドパスフィルターの Q 幅を設定します。数値が高いほど幅が狭くなります。
	Input Filter Q Tilt	-0.6~1.0	フィルターのレゾナンスが低から高の周波数範囲でどのように変化するかを設定します
	Q Output Rel Up	-0.6~1.0	フィルターのレゾナンスが周波数に対してどのように分布するかを設定します
	FX Level Up	-100~0dB	Octaver のレベルを調整します。
	Output HiCut Freq	20Hz~20kHz	オクターバー信号の HiCut 周波数を設定します
	Drive	0~40dB	Octaver のドライブ量を設定します、これによりレベルが補正されます
	Enable	ON/OFF	Octaver ON/OFF を設定します

CORONA CHORUS

Page	Parameter	Range	Description
ROUTER			
	Kill Dry	ON/OFF	原音をカットできます
	FX Level	-100~0dB	FX Level を調整します
MODULATION			
	Mod Type	Classic Cho	SCF タイプのクラシックコーラスです
		Adv.Cho	コーラスチューニングが少し異なるバリエーションです
		Classic Fla	クラシックタイプのフランジャーです
		Adv.Flanger	フランジャーチューニングが少し異なるバリエーションです
		Vibrato	ビブラートです
		Vib.Ramp	ビブラートチューニングが少し異なるバリエーションです
		TriChorus	3つの異なるオフセットをかけたコーラスのバリエーションです
		TriChoAltn	トライコーラスのバリエーションです
		TZFlanger	古典的なテープデッキを使用したフランジャーのエミュレーションです
	Mod Active	ON/OFF	モジュレーションを ON/OFF します
	Tape Falnger	0~1023	TZFlanger の Delay1 と Delay2 のバランスを調整します
	LFO Type	Sine	モジュレーションの波形を Sine 波にします
		Sine2	Sine 波のバリエーションです
		Sine4	Sine 波のバリエーションです
		Triangle	モジュレーションの波形を三角波にします
		Sine of Cosine	モジュレーションの波形をコサイン波にします
	Speed	61.5mHz~20Hz	モジュレーション波形の速度を設定します
	Depth1	0.0~100%	モジュレーションの深さを調整します
	Depth2	0.0~100%	Tri Chorus 使用時に 2 番目のモジュレーションの深さを調整します
	Depth3	0.0~100%	Tri Chorus 使用時に 3 番目のモジュレーションの深さを調整します
	Mod HiCut	20Hz~20kHz	モジュレーションの HiCut 周波数を調整します
	Mod Mix	0~100%	モジュレーションの MIX 量を調整します
	Output Level	-100~0dB	モジュレーションの Output Level を調整します
	Delay Time1	0.1~50.0ms	モジュレーションの Delay を調整します
	Delay Time2	0.1~50.0ms	特定のモデルを使用時に 2 番目のモジュレーションの Delay を調整します
	Delay Time3	0.1~50.0ms	特定のモデルを使用時に 3 番目のモジュレーションの Delay を調整しま

			す
	Mod Feedback	-100~100%	モジュレーションのフィードバック量を調整します
	Mod Feedback HiCut	20Hz~20kHz	モジュレーションフィードバックに対する HiCut 周波数を設定します

SHAKER VIBRATO

Page	Parameter	Range	Description
ROUTER			
	Kill Dry	ON/OFF	原音をカットできます
	FX Level	-100~0dB	FX Level を調整します
MODULATION			
	Mod Type	Classic Cho	SCF タイプのクラシックコーラスです
		Adv.Cho	コーラスチューニングが少し異なるバリエーションです
		Classic Fla	クラシックタイプのフランジャーです
		Adv.Flanger	フランジャーチューニングが少し異なるバリエーションです
		Vibrato	ビブラートです
		Vib.Ramp	ビブラートチューニングが少し異なるバリエーションです
		TriChorus	3つの異なるオフセットをかけたコーラスのバリエーションです
		TriChoAltn	トライコーラスのバリエーションです
		TZFlanger	古典的なテープデッキを使用したフランジャーのエミュレーションです
	Mod Active	ON/OFF	モジュレーションを ON/OFF します
	Tape Falnger	0~1023	TZFlanger の Delay1 と Delay2 のバランスを調整します
	LFO Type	Sine	モジュレーションの波形を Sine 波にします
		Sine2	Sine 波のバリエーションです
		Sine4	Sine 波のバリエーションです
		Triangle	モジュレーションの波形を三角波にします
		Sine of Cosine	モジュレーションの波形をコサイン波にします
	Speed	61.5mHz~20Hz	モジュレーション波形の速度を設定します
	Depth1	0.0~100%	モジュレーションの深さを調整します
	Depth2	0.0~100%	Tri Chorus 使用時に 2 番目のモジュレーションの深さを調整します
	Depth3	0.0~100%	Tri Chorus 使用時に 3 番目のモジュレーションの深さを調整します
	Mod HiCut	20Hz~20kHz	モジュレーションの HiCut 周波数を調整します
	Mod Mix	0~100%	モジュレーションの MIX 量を調整します
	Output Level	-100~0dB	モジュレーションの Output Level を調整します
	Delay Time1	0.1~50.0ms	モジュレーションの Delay を調整します
	Delay Time2	0.1~50.0ms	特定のモデルを使用時に 2 番目のモジュレーションの Delay を調整します
	Delay Time3	0.1~50.0ms	特定のモデルを使用時に 3 番目のモジュレーションの Delay を調整します

	Mod Feedback	-100~100%	モジュレーションのフィードバック量を調整します
	Mod Feedback HiCut	20Hz~20kHz	モジュレーションフィードバックに対する HiCut 周波数を設定します
	Ramp Time	0~5000ms	ビブラートの立ち上がり時間を調節します

QUINTESSENCE HARMONY

Page	Parameter	Range	Description
HARMONY			
	Resulting	C~B	Harmony Scale に適用する Key を設定します
	Custom Scale	Ionian	イオニアンスケールです
		Dorian	ドリアンスケールです
		Phrygian	フリジアンスケールです
		Lydian	リディアンスケールです
		Mixolydian	ミクソリディアンスケールです
		Aeolian	エオリアンスケールです
		Locrian	ロクリアンスケールです
		Pentatonic Minor	ペンタトニックマイナースケールです
		Pentatonic Major	ペンタトニックメジャースケールです
		Blues	ブルーススケールです
		Dim Halftone	ディミニッシュスケールです (半音)
		Dim Wholetone	ディミニッシュスケールです (全音)
		Wholetone	ホールトンスケールです
		Asc Melodic Minor	メロディックマイナースケールです
		Harmonic Minor	ハーモニックマイナースケールです
		Super Locrian	スーパーロクリアンスケールです
		Lydian Flat 7th	リディアンフラット 7th スケールです
		Phrygian Major	フリジアンメジャースケールです
	Dry Level	-100~0dB	Dry 信号の音量を調整します
	Voice Select	1/1+2/2	Harmony に使用する Voice を選択します
	1.Harmony	-1 oct~1 oct	Voice1 のハモリの度数を設定します
	1.FX Level	-100~0dB	Voice1 の FX レベルを調整します

	1.Delay	0-250ms	Voice1 の Delay を調整します
	1.Bend Tone	-1 oct~1 oct	Voice1 の Bend 時の Tone を設定します
	1.Bend %	0-100%	Voice1 の Bend 時の Bend レベルを調整します
	2.Harmony	-1 oct~1 oct	Voice2 のハモリの度数を設定します
	2.FX Level	-100~0dB	Voice2 の FX レベルを調整します
	2.Delay	0-250ms	Voice2 の Delay を調整します
	2.Bend Tone	-1 oct~1 oct	Voice2 の Bend 時の Tone を設定します
	2.Bend %	0-100%	Voice2 の Bend 時の Bend レベルを調整します

HELIX PHASER

Page	Parameter	Range	Description
ROUTER			
	Input Level	-100~0dB	Input Level を調整します
	FX Level	-100~0dB	FX Level を調整します
PHASER			
	Order Left	4, 8, 10	L 側(MONO)出力の Phaser ステージを切り替えます
	Order Right	4, 6, 8	R 側(STEREO)出力の Phaser ステージを切り替えます
	Speed	61.5mHz~20Hz	Phaser のスピードを調整します
	Depth	0~100%	Phaser の深さを調整します
	PhaFB	-100~100%	Phaser の Feedback を調整します
	Range	Low/Hight	Phaser のレンジを切り替えます
	PhaRevLeft	ON/OFF	L 側(MONO)出力の Phaser の位相を切り替えます
	PhaRevRight	ON/OFF	R 側(STEREO)出力の Phaser の位相を切り替えます
	Mix	0~100%	FX の MIX 量を調整します
	OutLev	-100~0dB	Out Level を調整します
	Hicut FB Freq	100Hz~1kHz	Feedback の Hicut 周波数を調整します
	Hicut FB Damp	-100~0dB	Feedback の Hicut に対するダンピング量を設定します
	FB Drive	0-20dB	Feedback のドライブ量を調整します
	Mix Mono	ON/OFF	L 側(MONO)出力に R 側(Phaser Right)を MIX します

VORTEX FLANGER			
Page	Parameter	Range	Description
ROUTER			
	Kill Dry	ON/OFF	原音をカットできます
	FX Level	-100~0dB	FX Level を調整します
MODULATION			
	Mod Type	Classic Cho	SCF タイプのクラシックコーラスです
		Adv.Cho	コーラスチューニングが少し異なるバリエーションです
		Classic Fla	クラシックタイプのフランジャーです
		Adv.Flanger	フランジャーチューニングが少し異なるバリエーションです
		Vibrato	ビブラートです
		Vib.Ramp	ビブラートチューニングが少し異なるバリエーションです
		TriChorus	3つの異なるオフセットをかけたコーラスのバリエーションです
		TriChoAltn	トライコーラスのバリエーションです
		TZFlanger	古典的なテープデッキを使用したフランジャーのエミュレーションです
	Mod Active	ON/OFF	モジュレーションを ON/OFF します
	Tape Falnger	0~1023	TZFlanger の Delay1 と Delay2 のバランスを調整します
	LFO Type	Sine	モジュレーションの波形を Sine 波にします
		Sine2	Sine 波のバリエーションです
		Sine4	Sine 波のバリエーションです
		Triangle	モジュレーションの波形を三角波にします
		Sine of Cosine	モジュレーションの波形をコサイン波にします
	Speed	61.5mHz~20Hz	モジュレーション波形の速度を設定します
	Depth1	0.0~100%	モジュレーションの深さを調整します
	Depth2	0.0~100%	Tri Chorus 使用時に 2 番目のモジュレーションの深さを調整します
	Depth3	0.0~100%	Tri Chorus 使用時に 3 番目のモジュレーションの深さを調整します
	Mod HiCut	20Hz~20kHz	モジュレーションの HiCut 周波数を調整します
	Mod Mix	0~100%	モジュレーションの MIX 量を調整します
	Output Level	-100~0dB	モジュレーションの Output Level を調整します
	Delay Time1	0.1~50.0ms	モジュレーションの Delay を調整します
	Delay Time2	0.1~50.0ms	特定のモデルを使用時に 2 番目のモジュレーションの Delay を調整します
	Delay Time3	0.1~50.0ms	特定のモデルを使用時に 3 番目のモジュレーションの Delay を調整します

			す
	Mod Feedback	-100~100%	モジュレーションのフィードバック量を調整します
	Mod Feedback HiCut	20Hz~20kHz	モジュレーションフィードバックに対する HiCut 周波数を設定します

VISCIOUS VIBE			
Page	Parameter	Range	Description
ROUTER			
	Input Level	-100~0dB	Input Level を調整します
	FX Level	-100~0dB	FX Level を調整します
VIBE			
	Attack	0.050~5s	Ramp モード時にスピードが変化するまでの時間を調整します
	Release	0.050~5s	Ramp モード解除時のスピードが元に戻るまでの時間を調整します
	Drive	0~12dB	エフェクトのドライブ量を調整します
	Highcut Freq	100Hz~20kHz	Highcut 周波数を調整します
	Highcut Damp	-100~0dB	Highcut のダンピング量を調整します
	Mix	0~100%	エフェクトの MIX 量を調整します
	Boost	0~12dB	エフェクトのブースト量を調整します
	Out Level	-100~0dB	Out Level を調整します
	Feedback	-100~100%	Feedback を調整します
	PhaRevLeft	ON/OFF	L 側(MONO)出力のエフェクトの位相を切り替えます
	PhaRevRight	ON/OFF	R 側(STEREO)出力のエフェクトの位相を切り替えます
	Subtype	Modern/Vintage/Vintage2/Simple	VIBE の揺れ方を選択します
	Default Speed	200mHz~20Hz	通常時の VIBE のスピードを調整します
	High Speed	200mHz~20Hz	RAMP モード時の VIBE のスピードを調整します
	Depth	0~100%	エフェクトの深さを調整します
MODULATION			
	Mod Type	Classic Cho	SCF タイプのクラシックコーラスです
		Adv.Cho	コーラスチューニングが少し異なるバリエーションです
		Classic Fla	クラシックタイプのフランジャーです

		Adv.Flanger	フランジャーチューニングが少し異なるバリエーションです
		Vibrato	ビブラートです
		Vib.Ramp	ビブラートチューニングが少し異なるバリエーションです
		TriChorus	3つの異なるオフセットをかけたコーラスのバリエーションです
		TriChoAltn	トライコーラスのバリエーションです
		TZFlanger	古典的なテープデッキを使用したフランジャーのエミュレーションです
	Mod Active	ON/OFF	モジュレーションを ON/OFF します
	Tape Falnger	0~1023	TZFlanger の Delay1 と Delay2 のバランスを調整します
	LFO Type	Sine	モジュレーションの波形を Sine 波にします
		Sine2	Sine 波のバリエーションです
		Sine4	Sine 波のバリエーションです
		Triangle	モジュレーションの波形を三角波にします
		Sine of Cosine	モジュレーションの波形をコサイン波にします
	Speed	61.5mHz~20Hz	モジュレーション波形の速度を設定します
	Depth1	0.0~100%	モジュレーションの深さを調整します
	Depth2	0.0~100%	Tri Chorus 使用時に 2 番目のモジュレーションの深さを調整します
	Depth3	0.0~100%	Tri Chorus 使用時に 3 番目のモジュレーションの深さを調整します
	Mod HiCut	20Hz~20kHz	モジュレーションの HiCut 周波数を調整します
	Mod Mix	0~100%	モジュレーションの MIX 量を調整します
	Output Level	-100~0dB	モジュレーションの Output Level を調整します
	Delay Time1	0.1~50.0ms	モジュレーションの Delay を調整します
	Delay Time2	0.1~50.0ms	特定のモデルを使用時に 2 番目のモジュレーションの Delay を調整します
	Delay Time3	0.1~50.0ms	特定のモデルを使用時に 3 番目のモジュレーションの Delay を調整します
	Mod Feedback	-100~100%	モジュレーションのフィードバック量を調整します
	Mod Feedback HiCut	20Hz~20kHz	モジュレーションフィードバックに対する HiCut 周波数を設定します

SUB 'N' UP OCTAVER

Page	Parameter	Range	Description
ROUTER			
	FX Level	-100~0dB	FX Level を調整します
OCTAVER			
	Level Sub2	-100~0dB	Sub2 の Level を調整します
	Level Sub	-100~0dB	Sub の Level を調整します
	Level Up	-100~0dB	Up の Level を調整します
	Level Dry	-100~0dB	原音の Level を調整します
	Drive Up	0~40dB	Up のドライブ量を調整します
	Drive Sub	0~40dB	Sub のドライブ量を調整します
	Drive Sub2	0~40dB	Sub2 のドライブ量を調整します
INPUT EQ			
	Input EQ1 Type	Bypass	Input の EQ をバイパスします
		LoCut	Input に LoCut タイプの EQ を適用します
		HiCut	Input に HiCut タイプの EQ を適用します
		LoShlv	Input に Lo シェルピングタイプの EQ を適用します
		HiShlv	Input に Hi シェルピングタイプの EQ を適用します
		ParEQ	Input にパラメトリックタイプの EQ を適用します
	Input EQ1 Order	1,2	カットする周波数からの減衰カーブを設定します
	Input EQ1 Freq	20~20kHz	設定した EQ に対しての周波数を設定します
	Input EQ1 Gain	-20~20dB	設定した EQ の周波数に対しての Gain 量を設定します
	Input EQ1 Reso	0.1~10	ParEQ で設定した周波数に対してのレゾナンス量を調整します
	Input EQ1 Slope	3,6,9,12 dB/oct	LoShlv,HiShlv EQ の設定周波数に対するオクターブごとの減衰量を調整します。
	Input EQ2 Type	Bypass	Input の EQ をバイパスします
		LoCut	Input に LoCut タイプの EQ を適用します
		HiCut	Input に HiCut タイプの EQ を適用します
		LoShlv	Input に Lo シェルピングタイプの EQ を適用します
		HiShlv	Input に Hi シェルピングタイプの EQ を適用します
		ParEQ	Input にパラメトリックタイプの EQ を適用します
	Input EQ2 Order	1,2	カットする周波数からの減衰カーブを設定します
	Input EQ2 Freq	20~20kHz	設定した EQ に対しての周波数を設定します

	Input EQ2 Gain	-20~20dB	設定した EQ の周波数に対しての Gain 量を設定します
	Input EQ2 Reso	0.1~10	ParEQ で設定した周波数に対してのレゾナンス量を調整します
	Input EQ2 Slope	3,6,9,12 dB/oct	LoShlv,HiShlv EQ の設定周波数に対するオクターブごとの減衰量を調整 します。
SUB 2 OUTPUT EQ			
	Link	ON/OFF	SUB および UP の EQ 設定を SUB 2 OUTPUT EQ に LINK させます
	Sub2 EQ1 Type	Bypass	Sub2 の EQ をバイパスします
		LoCut	Sub2 に LoCut タイプの EQ を適用します
		HiCut	Sub2 に HiCut タイプの EQ を適用します
		LoShlv	Sub2 に Lo シェルピングタイプの EQ を適用します
		HiShlv	Sub2 に Hi シェルピングタイプの EQ を適用します
		ParEQ	Sub2 にパラメトリックタイプの EQ を適用します
	Sub2 EQ1 Order	1,2	カットする周波数からの減衰カーブを設定します
	Sub2 EQ1 Freq	20~20kHz	設定した EQ に対しての周波数を設定します
	Sub2 EQ1 Gain	-20~20dB	設定した EQ の周波数に対しての Gain 量を設定します
	Sub2 EQ1 Reso	0.1~10	ParEQ で設定した周波数に対してのレゾナンス量を調整します
	Sub2 EQ1 Slope	3,6,9,12 dB/oct	LoShlv,HiShlv EQ の設定周波数に対するオクターブごとの減衰量を調整 します。
	Sub2 EQ2 Type	Bypass	Sub2 の EQ をバイパスします
		LoCut	Sub2 に LoCut タイプの EQ を適用します
		HiCut	Sub2 に HiCut タイプの EQ を適用します
		LoShlv	Sub2 に Lo シェルピングタイプの EQ を適用します
		HiShlv	Sub2 に Hi シェルピングタイプの EQ を適用します
		ParEQ	Sub2 にパラメトリックタイプの EQ を適用します
	Sub2 EQ2 Order	1,2	カットする周波数からの減衰カーブを設定します
	Sub2 EQ2 Freq	20~20kHz	設定した EQ に対しての周波数を設定します
	Sub2 EQ2 Gain	-20~20dB	設定した EQ の周波数に対しての Gain 量を設定します
	Sub2 EQ2 Reso	0.1~10	ParEQ で設定した周波数に対してのレゾナンス量を調整します
	Sub2 EQ2 Slope	3,6,9,12 dB/oct	LoShlv,HiShlv EQ の設定周波数に対するオクターブごとの減衰量を調整 します。
SUB OUTPUT EQ			
	Sub EQ1 Type	Bypass	Sub の EQ をバイパスします
		LoCut	Sub に LoCut タイプの EQ を適用します
		HiCut	Sub に HiCut タイプの EQ を適用します
		LoShlv	Sub に Lo シェルピングタイプの EQ を適用します

		HiShlv	Sub に Hi シェルピングタイプの EQ を適用します
		ParEQ	Sub にパラメトリックタイプの EQ を適用します
	Sub EQ1 Order	1,2	カットする周波数からの減衰カーブを設定します
	Sub EQ1 Freq	20~20kHz	設定した EQ に対しての周波数を設定します
	Sub EQ1 Gain	-20~20dB	設定した EQ の周波数に対しての Gain 量を設定します
	Sub EQ1 Reso	0.1~10	ParEQ で設定した周波数に対してのレゾナンス量を調整します
	Sub EQ1 Slope	3,6,9,12 dB/oct	LoShlv,HiShlv EQ の設定周波数に対するオクターブごとの減衰量を調整します。
	Sub EQ2 Type	Bypass	Sub の EQ をバイパスします
		LoCut	Sub に LoCut タイプの EQ を適用します
		HiCut	Sub に HiCut タイプの EQ を適用します
		LoShlv	Sub に Lo シェルピングタイプの EQ を適用します
		HiShlv	Sub に Hi シェルピングタイプの EQ を適用します
		ParEQ	Sub にパラメトリックタイプの EQ を適用します
	Sub EQ2 Order	1,2	カットする周波数からの減衰カーブを設定します
	Sub EQ2 Freq	20~20kHz	設定した EQ に対しての周波数を設定します
	Sub EQ2 Gain	-20~20dB	設定した EQ の周波数に対しての Gain 量を設定します
	Sub EQ2 Reso	0.1~10	ParEQ で設定した周波数に対してのレゾナンス量を調整します
	Sub EQ2 Slope	3,6,9,12 dB/oct	LoShlv,HiShlv EQ の設定周波数に対するオクターブごとの減衰量を調整します。
INPUT EQ			
	Up EQ1 Type	Bypass	Up の EQ をバイパスします
		LoCut	Up に LoCut タイプの EQ を適用します
		HiCut	Up に HiCut タイプの EQ を適用します
		LoShlv	Up に Lo シェルピングタイプの EQ を適用します
		HiShlv	Up に Hi シェルピングタイプの EQ を適用します
		ParEQ	Up にパラメトリックタイプの EQ を適用します
	Up EQ1 Order	1,2	カットする周波数からの減衰カーブを設定します
	Up EQ1 Freq	20~20kHz	設定した EQ に対しての周波数を設定します
	Up EQ1 Gain	-20~20dB	設定した EQ の周波数に対しての Gain 量を設定します
	Up EQ1 Reso	0.1~10	ParEQ で設定した周波数に対してのレゾナンス量を調整します
	Up EQ1 Slope	3,6,9,12 dB/oct	LoShlv,HiShlv EQ の設定周波数に対するオクターブごとの減衰量を調整します。
	Up EQ2 Type	Bypass	Up の EQ をバイパスします
		LoCut	Up に LoCut タイプの EQ を適用します
		HiCut	Up に HiCut タイプの EQ を適用します

		LoShlv	Up に Lo シェルビングタイプの EQ を適用します
		HiShlv	Up に Hi シェルビングタイプの EQ を適用します
		ParEQ	Up にパラメトリックタイプの EQ を適用します
	Up EQ2 Order	1,2	カットする周波数からの減衰カーブを設定します
	Up EQ2 Freq	20~20kHz	設定した EQ に対しての周波数を設定します
	Up EQ2 Gain	-20~20dB	設定した EQ の周波数に対しての Gain 量を設定します
	Up EQ2 Reso	0.1~10	ParEQ で設定した周波数に対してのレゾナンス量を調整します
	Up EQ2 Slope	3,6,9,12 dB/oct	LoShlv,HiShlv EQ の設定周波数に対するオクターブごとの減衰量を調整します。
MODULATION			
	Mod Type	Classic Cho	SCF タイプのクラシックコーラスです
		Adv.Cho	コーラスチューニングが少し異なるバリエーションです
		Classic Fla	クラシックタイプのフランジャーです
		Adv.Flanger	フランジャーチューニングが少し異なるバリエーションです
		Vibrato	ビブラートです
		Vib.Ramp	ビブラートチューニングが少し異なるバリエーションです
		TriChorus	3つの異なるオフセットをかけたコーラスのバリエーションです
		TriChoAltn	トライコーラスのバリエーションです
		TZFlanger	古典的なテープデッキを使用したフランジャーのエミュレーションです
	Mod Active	ON/OFF	モジュレーションを ON/OFF します
	Tape Falnger	0~1023	TZFlanger の Delay1 と Delay2 のバランスを調整します
	LFO Type	Sine	モジュレーションの波形を Sine 波にします
		Sine2	Sine 波のバリエーションです
		Sine4	Sine 波のバリエーションです
		Triangle	モジュレーションの波形を三角波にします
		Sine of Cosine	モジュレーションの波形をコサイン波にします
	Speed	61.5mHz~20Hz	モジュレーション波形の速度を設定します
	Depth1	0.0~100%	モジュレーションの深さを調整します
	Depth2	0.0~100%	Tri Chorus 使用時に 2 番目のモジュレーションの深さを調整します
	Depth3	0.0~100%	Tri Chorus 使用時に 3 番目のモジュレーションの深さを調整します
	Mod HiCut	20Hz~20kHz	モジュレーションの HiCut 周波数を調整します
	Mod Mix	0~100%	モジュレーションの MIX 量を調整します
	Output Level	-100~0dB	モジュレーションの Output Level を調整します
	Delay Time1	0.1~50.0ms	モジュレーションの Delay を調整します

	Delay Time2	0.1~50.0ms	特定のモデルを使用時に 2 番目のモジュレーションの Delay を調整します
	Delay Time3	0.1~50.0ms	特定のモデルを使用時に 3 番目のモジュレーションの Delay を調整します
	Mod Feedback	-100~100%	モジュレーションのフィードバック量を調整します
	Mod Feedback HiCut	20Hz~20kHz	モジュレーションフィードバックに対する HiCut 周波数を設定します

HYPERGRAVITY COMPRESSOR			
Page	Parameter	Range	Description
CROSS OVER			
	X-Over Low	OFF~16000	低音域と中音域の X-Over 周波数を調整します
	X-Over High	OFF~16000	高音域と中音域の X-Over 周波数を調整します
GAIN			
	Auto Gain	ON/OFF	コンプレッサーのエフェクトによって音量が下がった場合にゲインを補正します
	Level All	-100~50dB	全ての周波数帯域の Level を一括で調整します
	Level Low	-100~50dB	X-Over Low で設定した周波数帯域以下の音域の Level を調整します
	Level Mid	-100~50dB	X-Over Low 周波数以上、X-Over High 周波数以下の音域の Level を調整します
	Level High	-100~50dB	X-Over High で設定した周波数帯域以上の音域の Level を調整します
	Blend All	0~100%	全ての周波数帯域の原音とのブレンド量を一括で調整します
	Blend Low	0~100%	X-Over Low で設定した周波数帯域以下の原音とのブレンド量を調整します
	Blend Mid	0~100%	X-Over Low 周波数以上、X-Over High 周波数以下の原音とのブレンド量を調整します
	Blend High	0~100%	X-Over High で設定した周波数帯域以上の原音とのブレンド量を調整します
COMPRESSOR			
	Threshold All	-120~0dB	全ての周波数帯域の Theshold 値(しきい値)を一括で調整します
	Threshold Low	-120~0dB	低周波数帯域の Theshold 値(しきい値)を調整します
	Threshold Mid	-120~0dB	中周波数帯域の Theshold 値(しきい値)を調整します
	Threshold High	-120~0dB	高周波数帯域の Theshold 値(しきい値)を調整します
	Ratio All	OFF~1:inf	全ての周波数帯域の Ratio 値(圧縮量)を一括で調整します
	Ratio Low	OFF~1:inf	低周波数帯域の Ratio 値(圧縮量)を調整します
	Ratio Mid	OFF~1:inf	中周波数帯域の Ratio 値(圧縮量)を調整します

	Ratio High	OFF~1:inf	高周波数帯域の Ratio 値(圧縮量)を調整します
	Attack All	0.3~100ms	全ての周波数帯域の Attack タイム(Threshold を上回ってから圧縮されるまでの時間)を一括で調整します
	Attack Low	0.3~100ms	低周波数帯域の Attack タイム(Threshold を上回ってから圧縮されるまでの時間)を調整します
	Attack Mid	0.3~100ms	中周波数帯域の Attack タイム(Threshold を上回ってから圧縮されるまでの時間)を調整します
	Attack High	0.3~100ms	高周波数帯域の Attack タイム(Threshold を上回ってから圧縮されるまでの時間)を調整します
	Hold All	0~400%	全ての周波数帯域の Hold 量(圧縮している時間)を一括で調整します
	Hold Low	0~400%	低周波数帯域の Hold 量(圧縮している時間)を調整します
	Hold Mid	0~400%	中周波数帯域の Hold 量(圧縮している時間)を調整します
	Hold High	0~400%	高周波数帯域の Hold 量(圧縮している時間)を調整します
	Release All	20ms~2s	全ての周波数帯域の Release タイム(Threshold を下回ってから音量が戻るまでの時間)を一括で調整します
	Release Low	20ms~2s	低周波数帯域の Release タイム(Threshold を下回ってから音量が戻るまでの時間)を調整します
	Release Mid	20ms~2s	中周波数帯域の Release タイム(Threshold を下回ってから音量が戻るまでの時間)を調整します
	Release High	20ms~2s	高周波数帯域の Release タイム(Threshold を下回ってから音量が戻るまでの時間)を調整します
	Knee All	0~100dB	全ての周波数帯域の Knee(Threshold を上回ってから圧縮されるまでのカーブ)を一括で調整します
	Knee Low	0~100dB	低周波数帯域の Knee(Threshold を上回ってから圧縮されるまでのカーブ)を調整します
	Knee Mid	0~100dB	中周波数帯域の Knee(Threshold を上回ってから圧縮されるまでのカーブ)を調整します
	Knee High	0~100dB	高周波数帯域の Knee(Threshold を上回ってから圧縮されるまでのカーブ)を調整します

※HYPERGRAVITY COMPRESSOR の各パラメーターは他のパラメーターにも作用し、それぞれのパラメーターを変更すると効果が変わります。

PIPELINE TAP TREMOLO			
Page	Parameter	Range	Description
TREMOLO			
	Mix	0~100%	原音とエフェクト量の Mix を調整します
	LFO Mix	0-100%	LFO1 と LFO2 の Mix 量を調整します
	Output Level	0~9dB	出力レベルを調整します
	HiCut	20Hz~20kHz	HiCut の周波数を調整します
LFO1			

	LFO Type	Sine	LFO の波形を Sine 波にします
		Sine2	Sine 波のバリエーションです
		Sine4	Sine 波のバリエーションです
		Triangle	LFO の波形を三角波にします
		Random	LFO の波形をランダムにします
		Square	LFO の波形を矩形波にします
	LFO Speed	50mHz~20Hz	LFO の Speed を調整します
	LFO Depth	0~100%	LFO の深さを調整します
	LFO Phase	0~100%	LFO のフェイズ(位相)を調整します
	LFO Width	0~100%	LFO の幅を調整します
	LFO HiCut	50mHz~100Hz	LFO の HiCut 周波数を調整します
LFO2			
	LFO Type	Sine	LFO の波形を Sine 波にします
		Sine2	Sine 波のバリエーションです
		Sine4	Sine 波のバリエーションです
		Triangle	LFO の波形を三角波にします
		Random	LFO の波形をランダムにします
		Square	LFO の波形を矩形波にします
	LFO Speed	50mHz~20Hz	LFO の Speed を調整します
	LFO Depth	0~100%	LFO の深さを調整します
	LFO Phase	0~100%	LFO のフェイズ(位相)を調整します
	LFO Width	0~100%	LFO の幅を調整します
	LFO HiCut	50mHz~100Hz	LFO の HiCut 周波数を調整します
TEMPO			
	Bar 1 Tempo	1~1/32	1 小節目の拍数を設定します
	Bar 2 Tempo	1~1/32	2 小節目の拍数を設定します
	Bar 3 Tempo	1~1/32	3 小節目の拍数を設定します
	Bar 4 Tempo	1~1/32	4 小節目の拍数を設定します

BRAINWAVES PITCH SHIFTER			
Page	Parameter	Range	Description
ROUTER			
	FX Chain MIX	0~100%	FX の Chain MIX 量を調整します
COMMON			
	Subtype	Pitch	一般的なピッチエフェクトです
		V1V2	V1>V2 へ変化させるタイプのエフェクトです
		Wham	ワームタイプのエフェクトです
		Detune	デチューンタイプのエフェクトです
	Dry Level	-100~0dB	原音のレベルです
	In Level	-100~0dB	原音の入力レベルを調整します
	Link Delay	On/Off	V1 および V2 の Delay タイムをリンクさせます
	Common Delay	0~260ms	Link Delay が ON の時に Delay Time を調整します
	Link Delay Feedback	On/Off	V1 および V2 の Delay フィードバック量をリンクさせます
	Common Delay Feedback	0~100%	Link Delay Feedback が ON の時に Delay Feedback を調整します
	Link Wet Feedback	On/Off	V1 および V2 の Delay wet フィードバック量をリンクさせます
	Common Wet Feedback	0~100%	Link Wet Feedback が ON の時に Wet Feedback を調整します
	Link Mix	On/Off	V1 および V2 の Mix レベル(Wet Level)をリンクさせます
	Common Mix	0~100%	Link Mix が ON の時に Mix レベル(Wet Level)を調整します
VOICE1			
	Custome Voice	0~2400	VOICE1 の Custome Voice にアサインするピッチ量を設定します
	Wet Level	-100~0dB	VOICE1 の量を調整します
	Delay	0~260ms	VOICE1 の DelayTime を調整します
	Dry Feedback	0~100%	Delay の Feedback 量を調整します。
	DryIn FB Mix	0~100%	Delay の Feedback 量を調整します。(Dry Feedback と似ていますが、Link Dry Feedback が OFF の場合のみ調整可能で V1 と V2 に異なる Feedback 量を調整するときのみ使用します)
	Wet Feedback	0~100%	Delay Feedback を上げると同時に、ピッチエフェクトへ Feedback を送る量を調整します。Delay リピート ON にピッチエフェクトがかかります。
	ToneBend Tone	-4800~4800	ToneBend 時に変化するピッチの最大量を設定します。(実際のサウンド変化は最大値の 2 オクターブを超えません)
	ToneBend%	0~100%	ToneBend の量を設定します
	Bend Time	0~10000ms	ToneBend が ON になってから最大値に達するまでの時間を調整します

	Fit to nearest dsemitone	On/Off	Voice および Tone を自動的に一番近いセミトーンに合わせます
VOICE2			
	Custome Voice	0~2400	VOICE2 の Custome Voice にアサインするピッチ量を設定します
	Wet Level	-100~0dB	VOICE2 の量を調整します
	Delay	0~260ms	VOICE2 の DelayTime を調整します
	Dry Feedback	0~100%	Delay の Feedback 量を調整します。
	DryIn FB Mix	0~100%	Delay の Feedback 量を調整します。(Dry Feedback と似ていますが、Link Dry Feedback が OFF の場合のみ調整可能で V1 と V2 に異なる Feedback 量を調整するときのみ使用します)
	Wet Feedback	0~100%	Delay Feedback を上げると同時に、ピッチエフェクトへ Feedback を SEND する量を調整します。Delay リピート ON にピッチエフェクトがかかります。
	ToneBend Tone	-4800~4800	ToneBend 時に変化するピッチの最大量を設定します。(実際のサウンド変化は最大値の 2 オクターブを超えません)
	ToneBend%	0~100%	ToneBend の量を設定します
	Bend Time	0~10000ms	ToneBend が ON になってから最大値に達するまでの時間を調整します
	Fit to nearest dsemitone	On/Off	Voice および Tone を自動的に一番近いセミトーンに合わせます
SOFTCLIPPER			
	Lo Cut Freq.	20Hz~20kHz	エフェクト音の Lo Cut 周波数を調整します
	Lo Cut Q	0.70~1.40	Lo Cut Filter の Q 係数 (レゾナンス/バンドウィズ) を設定します
	Hi cut freq. Distance	20Hz~20kHz	エフェクト音の Hi Cut 周波数を調整します
	Hi cut Q	0.70~1.40	Hi Cut Filter の Q 係数 (レゾナンス/バンドウィズ) を設定します
	Clip Type	None	エフェクト音のソフトクリップタイプ (ディストーション) を設定します
		Hard	
		2nd Liniaer High	
		2nd Curved Low	
		3rd Linear High	
		3rd Curved Low	
		4th Linear High	
		4th Curved Low	
		Digital Radiance Generator Part	
		Parametric EQ-Gold Channel	
		Dirty Square Root	
	Softclip Drive	0~30dB	Soft Clip の歪み量を設定します
	Softclip Symmetry	-100~100%	Soft Clip の対称性を設定します

SENTRY NOISE GATE			
Page	Parameter	Range	Description
CROSS OVER			
	X-Over Low	OFF~16000	低音域と中音域の X-Over 周波数を調整します
	X-Over High	OFF~16000	高音域と中音域の X-Over 周波数を調整します
NOISE GATE			
	Threshold All	-120~0dB	全ての周波数帯域の Theshold 値(しきい値)を一括で調整します
	Threshold Low	-120~0dB	低周波数帯域の Theshold 値(しきい値)を調整します
	Threshold Mid	-120~0dB	中周波数帯域の Theshold 値(しきい値)を調整します
	Threshold High	-120~0dB	高周波数帯域の Theshold 値(しきい値)を調整します
	Damping All	0-100dB	全ての周波数帯域の Damping 値(減衰量)を一括で調整します
	Damping High	0-100dB	低周波数帯域の Damping 値(減衰量)を調整します
	Damping Mid	0-100dB	中周波数帯域の Damping 値(減衰量)を調整します
	Damping Low	0-100dB	高周波数帯域の Damping 値(減衰量)を調整します
	Ratio All	OFF~Inf:1	全ての周波数帯域の Ratio 値を一括で調整します
	Ratio Low	OFF~Inf:1	低周波数帯域の Ratio 値を調整します
	Ratio Mid	OFF~Inf:1	中周波数帯域の Ratio 値を調整します
	Ratio High	OFF~Inf:1	高周波数帯域の Ratio 値を調整します
	Attack All	0.3~100ms	全ての周波数帯域の Attack タイム(Threshold を下回ってから減衰されるまでの時間)を一括で調整します
	Attack Low	0.3~100ms	低周波数帯域の Attack タイム(Threshold を下回ってから減衰されるまでの時間)を調整します
	Attack Mid	0.3~100ms	中周波数帯域の Attack タイム(Threshold を下回ってから減衰されるまでの時間)を調整します
	Attack High	0.3~100ms	高周波数帯域の Attack タイム(Threshold を下回ってから減衰されるまでの時間)を調整します
	Hold All	0~400%	全ての周波数帯域の Hold 量を一括で調整します
	Hold Low	0~400%	低周波数帯域の Hold 量を調整します
	Hold Mid	0~400%	中周波数帯域の Hold 量を調整します
	Hold High	0~400%	高周波数帯域の Hold 量を調整します

	Release All	2ms~2s	全ての周波数帯域の Release タイム(Threshold を上回ってから音量が戻るまでの時間)を一括で調整します
	Release Low	2ms~2s	低周波数帯域の Release タイム(Threshold を上回ってから音量が戻るまでの時間)を調整します
	Release Mid	2ms~2s	中周波数帯域の Release タイム(Threshold を上回ってから音量が戻るまでの時間)を調整します
	Release High	2ms~2s	高周波数帯域の Release タイム(Threshold を上回ってから音量が戻るまでの時間)を調整します
	Exp. Knee All	0~100dB	全ての周波数帯域の Knee(Threshold を下回ってから減衰されるまでのカーブ)を一括で調整します
	Exp. Knee Low	0~100dB	低周波数帯域の Knee(Threshold を下回ってから減衰されるまでのカーブ)を調整します
	Exp.Knee Mid	0~100dB	中周波数帯域の Knee(Threshold を下回ってから減衰されるまでのカーブ)を調整します
	Exp. Knee High	0~100dB	高周波数帯域の Knee(Threshold を下回ってから減衰されるまでのカーブ)を調整します
			※SENTRY NOISE GATE の各パラメーターは他のパラメーターにも作用し、それぞれのパラメーターを変更すると効果が変化します。

※SENTRY NOISE GATE の各パラメーターは他のパラメーターにも作用し、それぞれのパラメーターを変更すると効果が変化します。

INFINITE SAMPLE SUSTAINER			
Page	Parameter	Range	Description
ROUTER			
	Return	-100~0dB	Return に接続されたペダルからの Return 信号量を調整します。
	Input to Sustain	-100~0dB	入力信号を Sustain FX エンジンにどの程度送るかを設定します。
	Sustain to Reverb	-100~0dB	Sustain エフェクトの信号を内蔵リバースエンジンにどの程度送るかを設定します。
	Input to Reverb Always	-100~0dB	入力信号を内蔵リバースエンジンにどの程度送るかを設定します。(ペダルの ON/OFF に関わらず VERB スイッチが ON の時は常時アクティブ)
	Input to Reverb Ctrl	-100~0dB	入力信号を内蔵リバースエンジンにどの程度送るかを設定します。(ペダルが ON の時、尚且つ VERB スイッチが ON の時アクティブ)
	Reverb Out	-100~0dB	内蔵リバースの音量を調整します。
	Sustain Out	-100~0dB	処理されている Sustain の音量を調整します。
	Send	-100~0dB	Send に接続されたペダルへの Send 信号量を調整します。
	Enable Reverb	On/Off	内部リバースエンジンの ON/OFF を切り替えます。
	Kill Dry Always	On/Off	Kill Dry の ON/OFF を切り替えます。
INFINITE			
	Decay	50~1000ms	Sustain エフェクトの立ち上がり速度を調整します。
	Fade In	50~1000ms	FX を OFF にしたときの Sustain エフェクトの残響が無くなるまでの速度を調整します。

	Inf.Damp	0-12dB	Sustain レイヤーを重ねていく際に、古いレイヤーの音量をどの程度減少させるかを設定します。
	Layers	L1	単体の1つのレイヤーのみを使用できます。新しいレイヤーを作成すると、古いレイヤーは削除されます。
		L2	最大で2つのレイヤーを重ねることができます。3つ以上のレイヤーを作成すると、一番古いレイヤーから順番に削除されていきます。
		L3	最大で3つのレイヤーを重ねることができます。4つ以上のレイヤーを作成すると、一番古いレイヤーから順番に削除されていきます。
		INFINITE	無制限にレイヤーを重ねていくことができます。古いレイヤーは削除されません。
	Fit Lo Type	Bypass	Sustain 信号への Lo EQ をバイパスします
		LoCut	Sustain 信号に LoCut タイプの EQ を適用します
		HiCut	Sustain 信号に HiCut タイプの EQ を適用します
		LoShlv	Sustain 信号に Lo シェルビングタイプの EQ を適用します
		HiShlv	Sustain 信号に Hi シェルビングタイプの EQ を適用します
	Fit Lo Freq	20~20kHz	設定した EQ に対しての周波数を設定します
	Fit Lo Gain	-20~20dB	設定した EQ の周波数に対しての Gain 量を設定します
	Fit Lo Slope	3,6,9,12 dB/oct	LoShlv,HiShlv EQ の設定周波数に対するオクターブごとの減衰量を調整します。
	Fit Lo Cut Order	1,2	カットする周波数からの減衰カーブを設定します
	Fit Hi Type	Bypass	Sustain 信号への Lo EQ をバイパスします
		LoCut	Sustain 信号に LoCut タイプの EQ を適用します
		HiCut	Sustain 信号に HiCut タイプの EQ を適用します
		LoShlv	Sustain 信号に Lo シェルビングタイプの EQ を適用します
		HiShlv	Sustain 信号に Hi シェルビングタイプの EQ を適用します
	Fit Hi Freq	20~20kHz	設定した EQ に対しての周波数を設定します
	Fit Hi Gain	-20~20dB	設定した EQ の周波数に対しての Gain 量を設定します
	Fit Hi Slope	3,6,9,12 dB/oct	LoShlv,HiShlv EQ の設定周波数に対するオクターブごとの減衰量を調整します。
	Fit Hi Cut Order	1,2	カットする周波数からの減衰カーブを設定します
MODULATION			
	Sub Type	Classic Cho	SCF タイプのクラシックコーラスです
		Adv.Cho	コーラスチューニングが少し異なるバリエーションです
		Classic Fla	クラシックタイプのフランジャーです
		Adv.Flanger	フランジャーチューニングが少し異なるバリエーションです
		Vibrato	ビブラートです
		Vib.Ramp	ビブラートチューニングが少し異なるバリエーションです
		TriChorus	3つの異なるオフセットをかけたコーラスのバリエーションです
		TriChoAltn	トライコーラスのバリエーションです

		TZFlanger	古典的なテープデッキを使用したフランジャーのエミュレーションです
	Enable	ON/OFF	モジュレーションを ON/OFF します
	TZF Sum	0~1023	TZFlanger の Delay1 と Delay2 のバランスを調整します
	LFO Type	Sine	モジュレーションの波形を Sine 波にします
		Sine2	Sine 波のバリエーションです
		Sine4	Sine 波のバリエーションです
		Triangle	モジュレーションの波形を三角波にします
		Sine of Cosine	モジュレーションの波形をコサイン波にします
	LFO1 Speed	61.5mHz~20Hz	モジュレーション波形の速度を設定します
	LFO1 Depth LR0	0.0~100%	モジュレーションの深さを調整します
	LFO1 Depth LR1	0.0~100%	Tri Chorus 使用時に 2 番目のモジュレーションの深さを調整します
	LFO1 Depth LR2	0.0~100%	Tri Chorus 使用時に 3 番目のモジュレーションの深さを調整します
	HiCut	20Hz~20kHz	モジュレーションの HiCut 周波数を調整します
	Mix	0~100%	モジュレーションの MIX 量を調整します
	OutLev	-100~0dB	モジュレーションの Output Level を調整します
	DLYLR0	0.1~50.0ms	モジュレーションの Delay を調整します
	DLYLR1	0.1~50.0ms	特定のモデルを使用時に 2 番目のモジュレーションの Delay を調整します
	DLYLR2	0.1~50.0ms	特定のモデルを使用時に 3 番目のモジュレーションの Delay を調整します
	PhaRev	ON/OFF	モジュレーションの位相を反転させます。
	Feedback	-100~100%	モジュレーションのフィードバック量を調整します
	FB Cut	20Hz~20kHz	モジュレーションフィードバックに対する HiCut 周波数を設定します
REVERB			
	Decay	0.02~20 sec	リバーブが消えるまでの時間を設定します
	PreDelay(Short)	0~300 ms	Dry 信号からリバーブがかかるまでの短い Delay を設定します。
	Diffusion	-50~50	リバーブの密度を微調整します
	LoColor	-50~50	リバーブ全体の低周波数におけるスペクトルを調整します
	HiColor	-50~50	リバーブ全体の高周波数のカラーを調整します
	HiFactor	-25~25	選択した HiColor スペクトルを強調または減衰します
	Mod On/Off	ON/OFF	モジュレーションの ON/OFF を行います
	Modulation Rate	-25~25	内部 LFO のモジュレーション率をオフセットします
	Modulation Depth	-25~25	スペースモジュレーションのデフォルト量をオフセットします (タイプによって異なります)
	Early	-24.5~0dB	アルゴリズム上のリバーブ初期反射部分のレベルです。

	Reverb	-24.5~0dB	アルゴリズム上のリバーブ初期反射後リリースのレベルです。
	RevType	Hall1	コンサートホールのような残響音をエミュレートしたリバーブです。
		Hall2	ホールリバーブのバリエーションです。
		Cathdrl	カテドラル(大聖堂)のような広い場所の残響音をエミュレートしたリバーブです。
		Church	教会のような残響音をエミュレートしたリバーブです。
		Club	クラブのような残響音をエミュレートしたリバーブです。
		Room	寝室やリビングのような部屋の残響音をエミュレートしたリバーブです。
		SmlRoom	Room より狭い部屋の残響音をエミュレートしたリバーブです。
		Box	狭い箱の中のような残響音をエミュレートしたリバーブです。
		Ambient	アンビエントタイプのリバーブです。
		TCPlate	プレートリバーブをエミュレートした TC が誇るリバーブアルゴリズムです。
		Live1	Live ホールのような残響音をエミュレートしたリバーブです。
		Live2	Live リバーブのバリエーションです。
		Live3	Live リバーブのバリエーションです。
		Spring	スプリングリバーブのエミュレーションリバーブです。
	Dynamix Mode	OFF	Dynamix が OFF になります
		Positive	入力信号のダイナミクスを介してリバーブのレベルを制御できます、演奏中のリバーブ出力は減衰され、ダイナミクスが下がった時にリバーブが増加します
		Inverse	入力信号のダイナミクスを介してリバーブのレベルを制御できます、演奏中のリバーブ出力が多くなり、ダイナミクスが下がった時にリバーブが減衰します
	Dynamix Threshold	-40~0dB	Reverb と原音のしきい値を設定します、設定によってしきい値を超えた、または下回った値を減衰したり増加したりします
	Dynamix Damp	-60~0dB	Threshold で設定したしきい値を超えた、または下回った際のアッテネーション量を設定します
	Dynamix Attack	0.000~1.000 sec	Dynamix モードがアクティブの場合、リバーブのエンベロープのアタックタイムを設定します
	Dynamix Release	0.000~1.000 sec	Dynamix モードがアクティブの場合、リバーブのエンベロープのリリースタイムを設定します。
			Tips : 80s Gated verb のリリースタイムは 20 から 100 ミリ秒とかなり短いです

TC Electronic 国内正規輸入代理店

株式会社エレクトリ

〒105-0022 東京都港区海岸 2-7-70

<https://www.electori.co.jp/>

※本書の一部または全てを、弊社の許可なく複製、転載することを禁止します。

Please Note: No part of this manual may be reproduced in any form without our permission.